

世界無鉛釉の



無鉛釉「空の王者」 / 武腰 敏昭

日本藝術院会員

武腰敏昭と武腰冬樹による九谷焼展

TAKEGOSHI TOSHIKI & TAKEGOSHI FUYUKI

2019年

10月7日(月)―11月16日(土)

〔開館時間〕 10:00―18:00

〔休館日〕 日曜日

〔観覧料〕 無料

〔主催〕 株式会社 平成建設



「窓から」 / 武腰 冬樹



平成建設

平成記念美術館 ギャラリー

人と環境に優しい“無鉛釉”の世界

石川県能美市寺井町で江戸時代後期から続く九谷焼の名門武腰家は、初代 武腰泰山、二代 武腰善太郎、三代 武腰敏昭(当代)、四代 武腰冬樹と続いています。今展覧会では、日本藝術院会員・日展理事を務める三代 敏昭と四代 冬樹の作品を展示いたします。

三代 敏昭は、金沢美術工芸大学で工業デザインを学び、自由な発想で独自の造形と絵付けをし、器から陶壁画、環境造形まで多角的に作陶を続けています。形にこだわり、九谷焼の原点である絵画的要素や文様が施された作品は、シャープで豊かな造形に自然が調和する藝術性豊かな作品です。長い年月をかけて開発研究してきた「無鉛釉薬」を作品に使用し、鉛の毒性を心配することなく、人と環境に優しい「無鉛釉の世界」を広く世界に向けて発信しています。本年度その功績が認められて、武腰敏昭が代表を務める日本無鉛釉薬推進委員会が文化庁長官表彰を受けています。

四代 冬樹は、金沢美術工芸大学卒業後に父の元で修行を積み、日展で特選受賞を重ねてきました。日本現代工芸美術展や石川県陶芸協会でも活躍し、その格調ある作風は優しく高潔な人柄をよく表しています。

九谷焼の藝術家として時代を超えて世界に羽ばたくため、常識にとらわれず空間を飾る新しい表現を追い求めていく二人の作品をお楽しみください。



武腰 敏昭
Takegoshi Toshiaki

- 1940年 石川県能美市寺井町(現)に生まれる
- 1962年 金沢市美術工芸大学卒業後、陶芸の道に入る
- 1993年 能美市泉台町(現)に日本最大のビッグモニュメント「『甕』世紀をこえて」を制作
- 2001年 第33回 日展 内閣総理大臣賞 受賞「静寂」
- 2010年 日本藝術院賞 受賞「湖畔・彩釉花器」
日本藝術院会員就任
- 2015年 能美市市民栄誉賞 受賞
- 2018年 文化庁長官賞 受賞

〈現在〉金沢学院大学名誉教授、日展理事、日展運営委員、日展審査員(8回)
日本藝術院会員、日本無鉛釉薬推進委員会代表



無鉛釉「王鳥」/ 武腰 敏昭



武腰 冬樹
Takegoshi Fuyuki

- 1962年 石川県能美市寺井町(現)に生まれる
- 1985年 金沢美術工芸大学卒業後、師父敏昭のもと陶芸の道に入る
- 1988年 第20回 日展に初出品し初入選、以後合計17回入選
- 1992年 第2回 日工会展 東京都知事賞 受賞「青袍」
- 1996年 第6回 日工会展 文部大臣賞 受賞「青壁」
- 1998年 第54回 石川県現代美術展審査員 以後合計5回
- 1999年 第31回 日展 特選 受賞「青い空間」
- 2016年 改組 新 第2回 日展 特選 受賞「部屋へ」

〈現在〉現代工芸美術家協会本会員、日展準会員



「部屋へ」/ 武腰 冬樹

Gallery Talk

2019年10月14日(月・祝)
武腰敏昭先生 講演会

「環境造形と無鉛釉の創作」

会場：平成記念美術館 ギャラリー
時間：14:00～15:30(13:30 受付開始)
定員：50名(予約優先)
参加費：無料

〈ご予約・お問い合わせ〉 ☎03-3426-1100 または下記QRコードより

※開始10分前には会場へお越しください。

※ご来場は公共交通機関をご利用ください。

※内容は変更になる場合があります。最新情報はギャラリーサイト
をご確認ください。(https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/)



平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】 03-3426-1103

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

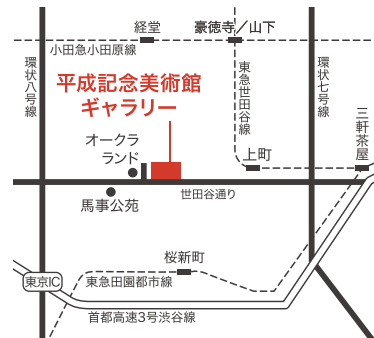
開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

〔電車〕 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

〔バス〕 渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行

渋24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



【次回企画展のおしらせ】 ※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。

2019年11月25日(月)～2020年1月15日(水) 『第8回 そば猪口アート公募展』